



肇國神社

✦ 航空・技術・目の守護 ✦



御祭神：天目一箇命／天照大神／飛行兵の英霊



御神徳：航空安全・整備開発・目の守護

航空技術を学ぶ若者たちの守り神として創建され、
今も空の安全と技術の発展を見守るお社です。



航空技術を学ぶ 若者たちの守り神

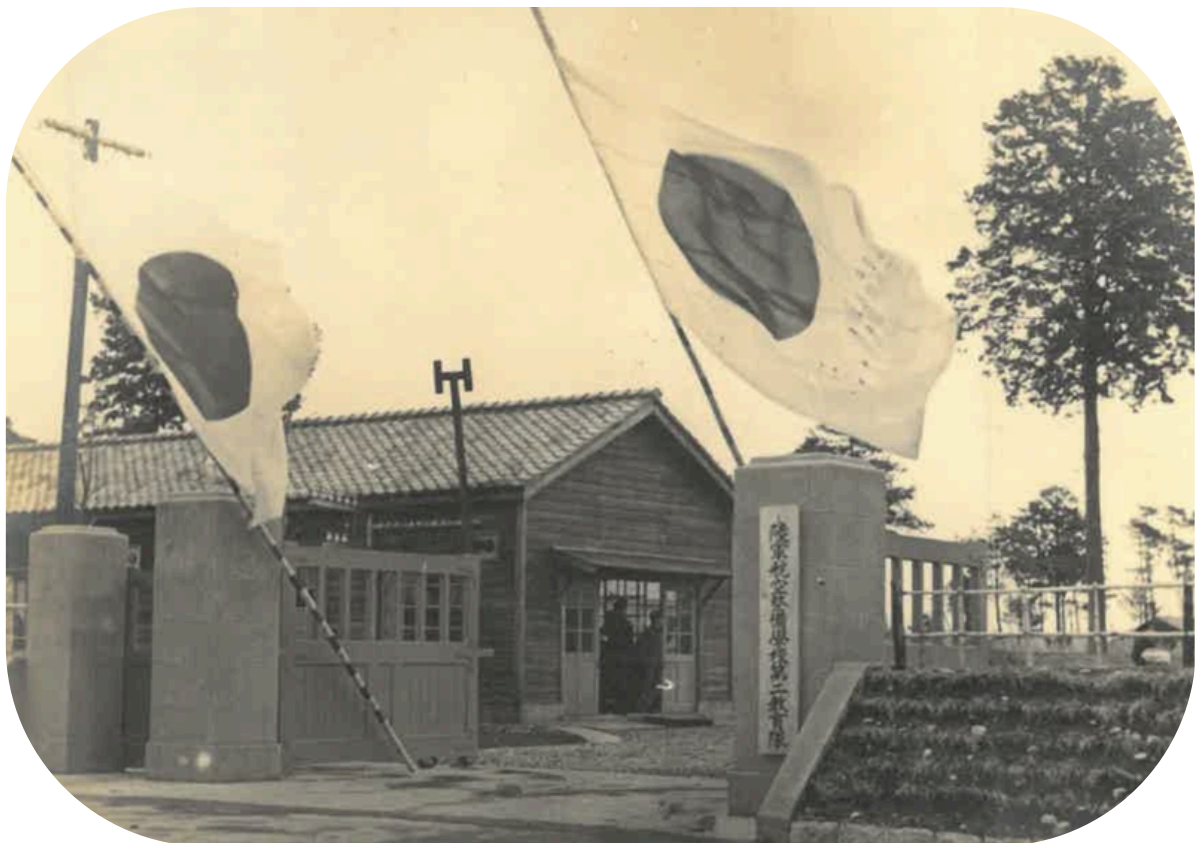


岐阜陸軍航空整備学校に創建。

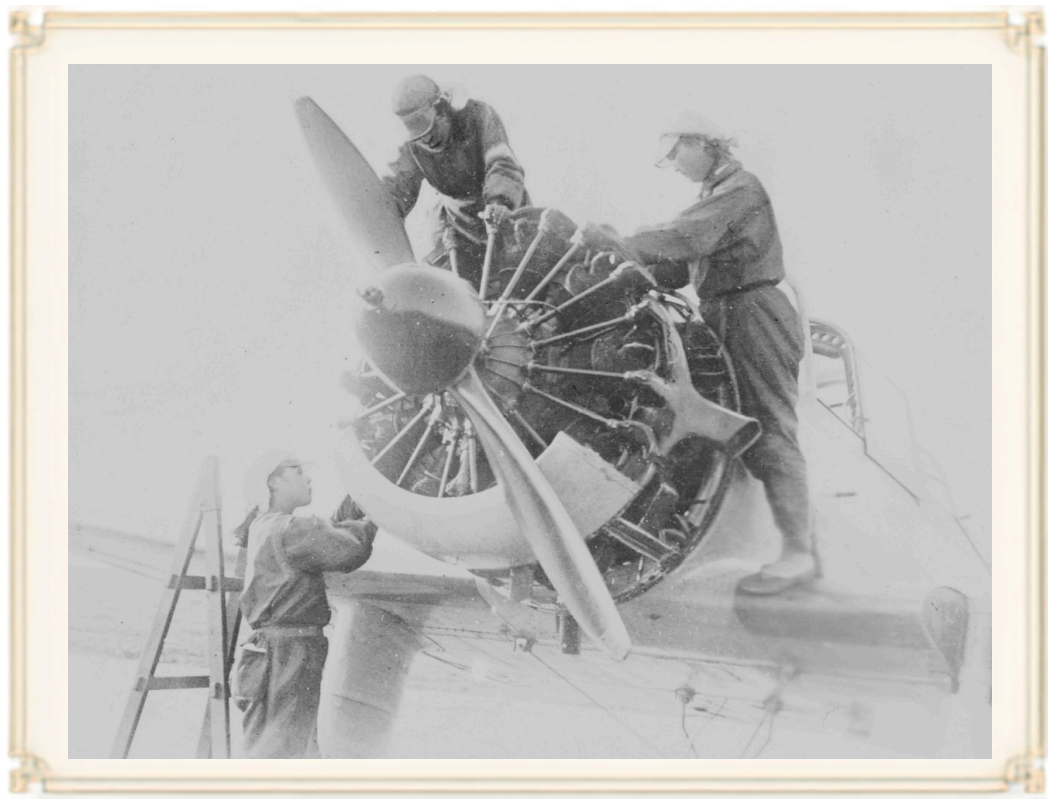
昭和十九年十一月十三日、
岐阜陸軍航空整備学校第二教育隊
(現：岐阜基地内)に創建されました。

神社名は、陸軍航空總監部に付く
賀陽宮恒憲王殿下より賜ったと伝わります。

航空技術を学ぶ学校生の守り神として、
手厚くお祀りされました。



航空技術を学ぶ若者たちの守り神として創建され、
今も空の安全と技術の発展を見守るお社です。



技を学び、
空を支える。



終戦を越え、 祈りを守る



溝旗神社へ

終戦を迎え、学校地がアメリカ軍に
接収されることとなりました。
神社を守るため、第二教育隊長の
児島義徳中佐が、ご神体をはじめ
鳥居などを溝旗神社境内へ遷しました。



その後、同学校卒業生で、
自身の務めの中で殉じた方々を
飛行兵の英霊として合祀。
肇國神社は、技術を学んだ
若者たちの記憶と祈りを、
現在まで受け継いでいます。



人の想いと技でつながり、
祈りは空へ続く。





肇國神社

CHOKOKU JINJA

空と技術の未来を見守る社



空へ、技術へ、未来へ。

御祭神は・・・

天目一箇命は、製鉄・鉄冶の神として神話に語られる神さまです。「目一箇」とは単目ではなく、製品の出来具合を見直す際に片目を閉じるさまによると伝わる。



目を守り、物事を見極める。

鳥のように広く、虫のように細かく、魚のように流れを見る。

そして、飛行機が目的地へ向かうように、

進むべき道を見つけ、目的を成し遂げる。

「目」に、そんな「見る力」「進む力」を願います。



見る力を願う

－物事を見極める－



目を守るだけでなく、
広く見渡し、細部を見つめ、
変化の流れを捉える。



正しく「見る力」を願います。

技を磨く

－ものづくり・技術の上達－



鉄を生み、道具をつくる神と
して信仰される天目一箇命。

技術の上達と、新しいものを
生み出す力を願います。



目的地にへ進む

－目標の成就を願う－



飛行機が空を越えて目的地へ
たどり着くように。
迷いの中でも進む道を。

目標を成し遂げる力を願います。



これからの空と、技術の発展を願って。

航空技術を学ぶ人々に祀られた肇國神社は、
現在も航空安全と技術の発展を願う祈りが受け継がれています。